

地震

ハザードマップ



ふじみ野市役所

〒356-8501
埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1
電話番号 049-261-2611
2024年7月作成

地震ハザードマップとは

地震ハザードマップとは、地震災害に関する情報や避難方法などを市民のみなさんにより提供することにより、日頃からの防災意識を高め、いざという時の被害を最小限にすることを目的とした地図です。

この地震ハザードマップについて

この地震ハザードマップは、埼玉県が平成24・25年度に行った「埼玉県地震被害想定調査」における想定地震の被害想定をもとに、「揺れやすさ」「建物倒壊危険度」「液状化可能性」を作成し、これらを「地震ハザードマップ」としています。

揺れやすさ

「揺れやすさ」は、ふじみ野市に大きな影響を及ぼすと想定した地震が発生した場合に、地震の震源からの距離と地域の表層地盤の状況から、地域ごとの程度として揺れやすさを示しています。計算のための単位は50mメッシュで、建物倒壊率を「建物倒壊危険度」として表しています。

建物倒壊危険度

「建物倒壊危険度」は、ふじみ野市に大きな影響を及ぼすと想定した地震が発生した場合に、地形や震源からの距離と地域の表層地盤の状況から、地域ごとの程度として揺れやすさを示しています。計算のための単位は50mメッシュで、建物倒壊率を「建物倒壊危険度」として表しています。

液状化可能性

「液状化可能性」は、ふじみ野市に大きな影響を及ぼすと想定した地震が発生した場合に、地形や震源からの距離と地域の表層地盤の状況から、地域ごとの程度として揺れやすさを示しています。計算のための単位は50mメッシュで、建物倒壊率を「建物倒壊危険度」として表しています。

対象とした地震について

埼玉県が平成24・25年度に行った「埼玉県地震被害想定調査」で想定された5つの地震のうち、比較的迫切性が高い「東京湾北部地震」と、ふじみ野市の被害が大きくなる「関東平野北西線断層帯地震（破壊開始点中央）」を対象としています。

埼玉県地震被害想定調査（地震ハザードマップで対象とした地震）

東京湾北部地震 [海溝型地震 マグニチュード7.3]

- フィリピン海プレート上の震源域に関する最新の知見を反映
- 今後30年以内に南東地域でM7級の地震が発生する確率: 70%
- ふじみ野市の想定震度: 大半が震度5弱、一部6弱
- 地震の突き上げ強振動は主に東方から来る
- 全壊棟数（揺れ+液状化）: 2棟、半壊棟数（揺れ+液状化）: 95棟
- 焼失棟数（冬の午後7時: 風速8m/s): 79棟

関東平野北西線断層帯地震（破壊開始点中央） [断層型地震 マグニチュード8.1]

- 断層帯と震源域を一體として想定
- 今後30年以内の地震発生率: 0.008%以下
- ふじみ野市の想定震度: 大半が震度5弱、一部6強
- 地震の突き上げ強振動は主に東方から来る
- 全壊棟数（揺れ+液状化）: 249棟、半壊棟数（揺れ+液状化）: 1,812棟
- 焼失棟数（冬の午後7時: 風速8m/s): 388棟
- ※このハザードマップの対象地震です。

上記以外の埼玉県地震被害想定調査による地震

茨城県南部地震 [海溝型地震 マグニチュード7.3]

- フィリピン海プレート上面の震源深さに関する最新の知見を反映
- 今後30年以内の地震発生率: 70%
- ふじみ野市の想定震度: 震度5弱

立川断層地震 [海溝型地震 マグニチュード7.4]

- 首都圏に大きな被害をもたらしたとする元禄地震（関東大震災）を想定
- 今後30年以内の地震発生率: 2%以下
- ふじみ野市の最大震度: 震度6弱



元禄型関東地震【相模湾～房総沖】 [海溝型地震 マグニチュード8.2]

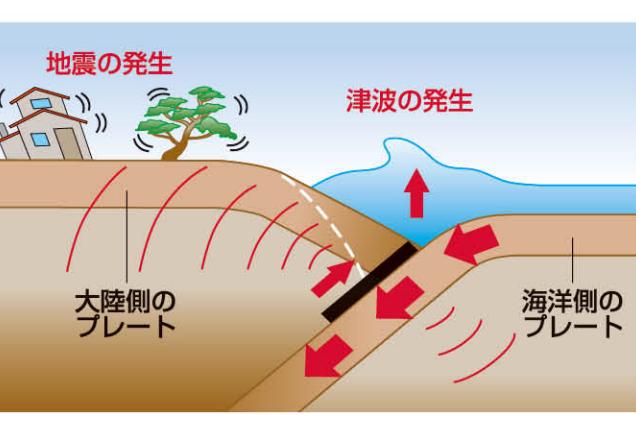
- 首都圏のうち明らかに違反でないもので、戸建専用住宅、戸建兼用住宅又は共同住宅及び長屋等であります。木造建築物の場合は、在来工法により建築されたもの。
- 対象者：補助対象となる建築物を所有し、市内に住所を有し居住している市税を納付する方を対象とします。
- ※補助金の額、申請の手続きなど詳しいことは ふじみ野市 建築課 建築指導係 電話 049-220-2069

地震発生のメカニズム

地球表面のプレートと呼ばれる板状の堅い地殻が運動することにより、プレートどうしの境界や周辺で生じる「ひずみ」が原因で、地震が発生します。日本では主に海溝型と活断層型の2種類の地震が起きています。

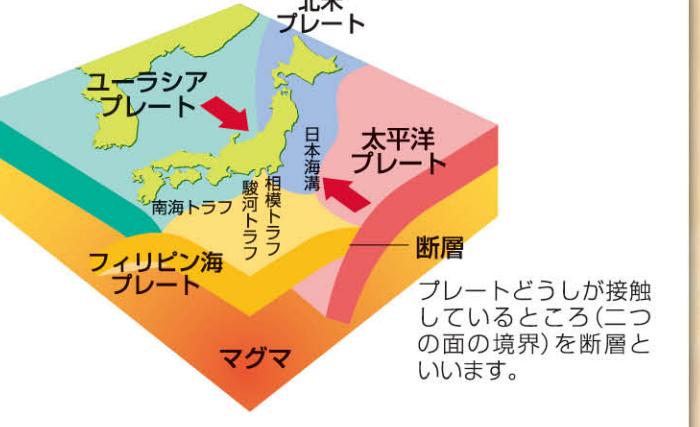
海溝型地震の発生

海洋側のプレートの潜り込みにより大陸側のプレートがさしづかれ、プレートどうしの境界にひずみがたまり、限界に達すると元に戻ろうとしてはね上がり、地震が発生します。



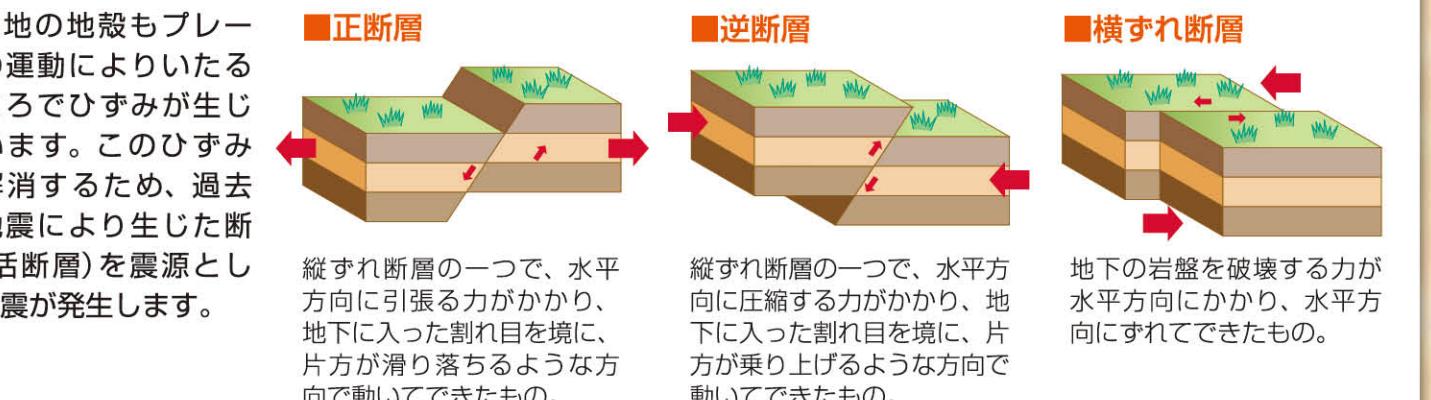
日本周辺のプレートの状況

日本列島の周辺には4つのプレートがあり、それぞれが別の方向に数センチの速度で動いています。



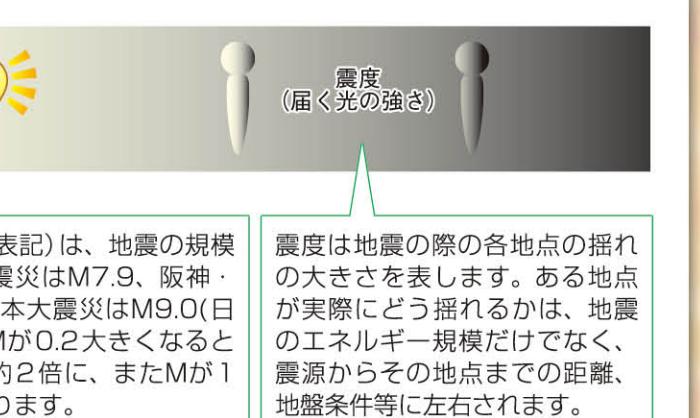
活断層型地震の発生

陸地の地殻もプレートの運動によりひずみが生じています。このひずみを解消するため、過去の地震により生じた断層（活断層）を震源として地震が発生します。



マグニチュードと震度の関係

マグニチュードと震度の関係は、電球の明るさと机の上の明るさの関係に例えることができます。電球からの光でも、机がどの位置にあるかで机の上の明るさは異なるように、マグニチュードが同じ地震であっても、震源が遠ければ震度は小さく、震源が近ければ震度は大きくなります。



大地震発生時の行動

大地震が発生したときは、あわててむやみに行動するとかえって危険です。緊急地震速報を活用したり、報道などから正しい情報を得て、正確に状況を判断して冷静な行動をとりましょう。

自宅にいる場合

揺れを感じたら

安全確保行動!!

地震の揺れから身を守る「3つの安全行動（シェイクアウト）」



まず低く DROP! 脚を守り COVER! 動かない HOLD!

揺れによっては机の下などでもないこともあります。

揺れがおさまたら

次の地震に備える

火を消して、避難路を確保する

安全確認・避難準備

■火元を確認する。

■玄関や窓を開けて出口を確保する。

■窓や扉が閉まらないように手近いものを挟む。

■声をかけて家族の安否を確認する。

■強い揺れの継続時間は20秒～1分間程度

■強い揺れの継続時間は15秒程度

■震度5弱の地震では大半の人が恐怖を感じ、これ以上の震度になれば、身の安全を守らうとしても、揺れによる火災の心配や恐怖による身体の硬直など、平常時のよその動作を行えない可能性があります。

■また、起きがちな状況（階段の昇降など）や、子供や高齢者など足腰の弱い人は、震度が小さくても思わず怪我をすることがあります。

■強い揺れの継続時間は190秒程度、とされています。

■強い揺れの継続時間は190秒程度、とされています。